

令和5年度 学校評価

浜松市立伊目小学校

令和5年度 2学期末アンケート(児童用)集計結果

		上：今年度 (R5年7月実施)	昨 年 比	 										
		下：昨年度 (R4年12月実施)		0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
教育 目 標	1	～教育目標「ふるさと伊目の光となれ」～ 伊目が大好きだ。	12	66.7 29.3 2.7 1.3										
			7	62.5 33.3 4.2 0										
	2	勉強や生活の中で、自分の決めた目標 や自分がやりたいと思うことに進んで チャレンジしている。	12	46.7 44 9.3 0										
			7	34.7 55.6 9.7 0										
豊 か な 心	3	楽しく、安心して学校に通っている。	12	69.3 22.7 6.7 1.3										
			7	50 45.8 4.2 0										
	4	友達をいじめていない。	12	65.3 24.0 2.7 8										
			7	54.3 31.9 11 2.8										
	5	勉強や生活で困っているときに、す ぐに先生に相談することができる。	12	37.7 37.7 21.6 3										
			7	29.2 47.2 18 5.6										
	6	友達のよさやがんばっていることを たくさん見付けられる。	12	44 40 13.3 2.7										
			7	34.7 47.2 16.7 1.4										
	7	いつでもどこでも進んであいさつを している。	12	49.3 40 8 2.7										
			7	48.6 34.7 16.7 0										
	学 力 向 上	8	授業が楽しい。	12	57.3 36.0 4 2.7									
				7	40.3 51.4 5.6 2.7									
		9	分からない問題も分かるようになる まで、ねばり強く取り組んでいる。	12	48.0 41.3 8 2.7									
				7	41.7 37.5 19.4 1.4									
10		たくさん本を読んでいる。	12	30.7 28.0 22.7 18.6										
			7	29.2 29.2 20.8 20.8										
11	人に迷惑をかけたり、人を嫌な気持 ちにさせないように気を付けながら クロムブックを使っている。	12	81.3 16 0 2.7											
		7	73.6 13.9 6 7											
体 力 向 上	12	休み時間には、進んで外遊びをし ている。	12	52.0 18.7 16.0 13.3										
			7	34.7 29.2 22.2 13.9										
	13	手洗いやうがいを進んでするなど 病気になるように気を付けて生 活している。	12	64.0 28.0 5.3 2.7										
			7	66.2 26.8 7 0										
	14	道路を歩くときや自転車に乗ると き、学校生活の中などで、けがや事 故にあわなように気を付けている。	12	81.4 16.0 1.8 1.3										
			7	75.0 19.4 4.2 1.4										

令和5年度 2学期末アンケート(教員用)集計結果

		上：今年度 (R5年7月実施)	昨 年 比	<input type="checkbox"/> とてもそう思う <input type="checkbox"/> まあそう思う <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> そう思わない						
		下：昨年度 (R4年12月実施)		0%	20%	40%	60%	80%	100%	
教育目標	1	～教育目標「ふるさと伊目の光となれ」～ 子どもたちは「ふるさと伊目」を愛し、地域や三世交代流事業の行事に積極的に参加している。	12	87.5					12.5	0.0
			7	87.5					12.5	0.0
	2	子供たちは、勉強や生活の中で、自分の決めた目標や自分がやりたいと思うことに進んでチャレンジしている。	12	62.5					37.5	0.0
			7	12.5	87.5				0.0	0.0
豊かな心	3	子供たちは、楽しく、安心して学校に通っている。	12	62.5					37.5	0.0
			7	37.5	62.5				0.0	0.0
	4	いじめのない学校、学級、集団作りに取り組んでいる。	12	87.5					12.5	0.0
			7	87.5					12.5	0.0
	5	勉強や生活での子供たちの困りに目を向け、子供たちの話を聞き、相談にのるように努めている。	12	100.0					0.0	0.0
			7	100					0.0	0.0
	6	子供たちが、友達のよさやがんばっていることを認めることができるように支援している。	12	100					0.0	0.0
7			87.5					12.5	0.0	
7	子供たちは、いつでもどこでも進んで挨拶している。	12	37.5	50			12.5	0.0	0.0	
		7	12.5	75			12.5	0.0	0.0	
学力向上	8	子供たちが学習意欲をもって、楽しく感じられる授業づくりに努めている。	12	62.5					37.5	0.0
			7	62.5					37.5	0.0
	9	子供たちは分からない問題にも分かるようになるまで、粘り強く取り組んでいる。	12	62.5					37.5	0.0
			7	87.5					12.5	0.0
10	子供たちが進んで読書に取り組めるように努めている。	12	50.0					37.5	12.5	0.0
		7	25	62.5			12.5	0.0	0.0	
11	子供たちが情報モラルやルールを意識しながらパソコンやタブレットを上手に使えるように指導している。	12	62.5					37.5	0.0	
		7	37.5	50			13	0.0	0.0	
体力向上	12	子供たちは、進んで外遊びや運動に取り組んでいる。	12	50.0					50	0.0
			7	50.0					50.0	0.0
	13	子供たちは、手洗いうがいを進んでするなど、病気になるないように気を付けて生活している。	12	62.5					37.5	0.0
			7	37.5	62.5			0.0	0.0	
14	子供たちは、けがや事故に気を付けて生活している。	12	37.5					62.5	0.0	
		7	25.0	62.5			12.5	0.0	0.0	
学校運営	15	学校・PTA・地域が協力して学校行事に取り組んでいる。	12	100.0					0.0	0.0
			7	100					0.0	0.0
	16	学校は、便りやホームページ、その他の方法で情報を発信している。	12	100.0					0.0	0.0
7			87.5					12.5	0.0	
17	学校は、保護者や地域の話に耳を傾け、相談しやすい雰囲気がある。	12	100.0					0.0	0.0	
		7	87.5					12.5	0.0	

令和5年度 2学期末アンケート(学校運営協議会委員用)集計結果

		上:今年度(R5年7月実施)	昨年比	<input type="checkbox"/> とてもそう思う <input type="checkbox"/> まあそう思う <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> そう思わない								
		下:昨年度(R4年12月実施)		0%	20%	40%	60%	80%	100%			
教育目標	1	～教育目標「ふるさと伊目の光となれ」～ 子どもたちは「ふるさと伊目」を愛し、地域や三世交流事業の行事に積極的に参加している。	12	80.0						20.0	0.0	
			7	57.1						42.9	0.0	
	2	子供たちは、勉強や生活の中で、自分の決めた目標や自分がやりたいと思うことを選んでチャレンジしている。	12	80						20	0	
			7	42.9						57.1	0.0	
豊かな心	3	子供たちは、楽しく、安心して学校に通っている。	12	60.0						40.0	0.0	
			7	42.9						57.1	0.0	
	4	子供たちにとって学校は、いじめのない学校、学級、集団となっている。	12	40						60	0.0	
			7	42.9						57.1	0.0	
	5	学校は、子供たちが勉強や生活で困っているときに、話を聞き、相談に乗ることができるような取り組みをしている。	12	40.0						40.0	20	0
			7	42.9						57.1	0.0	
	6	'子供たちは、友達のよさやがんばっていることを認めようとしている。	12	40						40	20	0
7			28.6						71.4	0.0		
7	子供たちは、いつでもどこでも進んで挨拶している。(家庭・地域の様子から)	12	80						20	0		
		7	71.4						28.6	0.0		
学力向上	8	子供たちは学習意欲をもって、楽しく授業に参加している。	12	20.0						80.0	0.0	
			7	28.6						71.4	0.0	
	9	子供たちは分からない問題にも分かるようになるまで、粘り強く取り組んでいる。	12	60.0						40	0	
7			28.6						71.4	0.0		
10	子供たちは進んで読書に取り組んでいる。	12	60.0						40	0		
		7	28.6						42.9	29	0	
11	子供たちは情報モラルやルールを意識しながらパソコンやタブレットを使っている。	12	20						40	40	0	
		7	42.9						57.1	0.0		
体力向上	12	子供たちは、進んで外遊びや運動に取り組んでいる。	12	40.0						40	20.0	0
			7	57.1						42.9	0.0	
	13	子供たちは、手洗いうがいを進んでするなど、病気になるように気を付けて生活している。	12	60.0						20.0	20	0
7			57.1						42.9	0.0		
14	子供たちは、けがや事故に気を付けて生活している。	12	60.0						40.0	0.0		
		7	42.9						57.1	0.0		
学校運営	15	学校・PTA・地域が協力して学校行事に取り組んでいる。	12	80.0						20.0	0.0	
			7	71.4						28.6	0.0	
	16	学校は、便りやホームページ、その他の方法で情報を発信している。	12	60.0						40.0	0.0	
7			57.1						42.9	0.0		
17	学校は、保護者や地域の話に耳を傾け、相談しやすい雰囲気がある。	12	60.0						40.0	0.0		
		7	71.4						28.6	0.0		

令和5年度 学校評価アンケートより

【アンケートの結果】

〈教育目標〉

○「伊目が好きだ」の項目に関して

・児童、保護者、運営協議会委員、教員のアンケートから、「ふるさと伊目」を愛して、行事に積極的に参加している児童の割合が高いことが分かる。

〈豊かな心〉

○「いじめに関する項目」に関して

・児童のアンケートより、「友達をいじめていない」の項目で、「(あまり)そう思わない」と答えている児童が一定数存在し、相手の嫌がることがいじめであると知りながら、相手に対して心身の苦痛となる行動を行っている児童が10%あまりいると考えられる。また、保護者のアンケートから、学校が子供達にとっていじめのない集団となっていると考えていない保護者が一定数いることが分かる。

○「困っているときに、すぐに先生に相談できる」の項目に関して

・児童のアンケートより、25%程度の児童が、あまり相談できていないと答えており、学校生活で困ったことが起こったときに、相談できずにいる児童が一定数いることが分かる。

○「あいさつ」の項目に関して

・児童のアンケートは、7月に比べて良くなっている。また昨年度の同時期よりも改善が見られる。しかし保護者、教員、学校運営協議会委員はもっとできると考えている割合が高い。

〈学力向上〉

○「授業」の項目に関して

・児童、保護者のアンケートより、90%以上の児童が授業が楽しいと回答している。校内研修での取り組みが毎日の授業に生かされていると考えられる。

・児童のアンケートでは、分からない問題も分かるようになるまで粘り強く取り組んでいると考えている児童が増加している。しかし、保護者のアンケートでは、まだまだ物足りないと考えている様子も分かる。

○「読書」の項目に関して

・児童、保護者ともに積極的に読書ができていないと考えている割合が高い。

○「情報モラル」の項目に関して

・児童のアンケートから情報モラルについて気を付けようという意識が高まっていることは見て取れる。保護者のアンケートより、家での情報モラルやルール面で、まだ守ることができていないと考えている保護者が一定数いることが分かる。

〈体力向上〉

○「外遊び」の項目に関して

・児童のアンケートから、7月よりも外遊びをしていると回答した児童が増加している。ただし、昨年度の12

月のアンケートより、外遊びをしていないと回答している児童の数は多い。

〈学校運営〉

・学校運営に関しては、保護者、学校運営協議会委員より概ね良い評価をいただいている。

【考察】

～ 成果 ～

○生き生き学校を始めとする三世代交流事業に対し、学校・保護者・地域が連携して学校行事に取り組むことができている。校訓「ふるさと伊目の光」となるべき「人」づくりを三者が一体となって取り組んで行くことができることがこの地区の強みであると考えられる。

○授業が楽しいと考えている児童が多く、毎日の授業が充実している様子が分かる。今年度、「見通しをもって主体的に学習に取り組む子の育成」をテーマとして、授業改善に取り組んできた一定の成果が表れている。来年度も研究授業等、教師の力量を高める取り組みを引き続き行っていく。

～ 課題と来年度の取り組み ～

・いじめに関して、学校は毎月行っている「生活アンケート」や今年度より行っている「いじめアンケート」を活用し、いじめの実態の把握に努めるとともに、児童相談日を使い、子供達一人一人の話を聞いている。今後も、より早く情報をつかみ早めのケアをしていくことで、大きな問題になる前に解決をしていくとともに、校内会議により、情報を共有し、複数人の教員の目で見えていく体制を整えていく。

また、困ったことがあってもすぐに教師に相談できない児童の存在が見受けられる。少人数であるという強みを生かし、一人一人の児童に目を配ったり、先述の児童相談日を活用したりしながら、児童の話をじっくりと聞くようにする。

・挨拶に関して、決まった場での挨拶はできるが、自分から進んで挨拶する意識が希薄な児童がいる。来年度は挨拶集会など児童主体の挨拶に関する活動を増やしていくことで、進んで挨拶をすることを意識できるようにしていく。

・読書に関して、今年度、読み聞かせボランティアの活動や児童による読み聞かせ活動、読書習慣の企画等を図書担当教員や支援員、ボランティアの方々が様々なアイデアを出して活動した。来年度も同様の活動を継続していく。

・情報モラルに関して、毎週水曜日の朝活動を ICT タイムとして、タイピング、プログラミング、情報モラルの日を設定して活動してきた(情報モラルは年間10回)。また一日参観会の中で、講師を招き情報モラルに関する講演会を行った。道徳の授業の中でも情報モラルの学習を行っている。来年度も同様の活動を行い、更なる意識の向上を目指していく。

・運動習慣に関して、来年度は楽しく運動する習慣を身に付けることを目標として活動していく。来年度より持久走大会を持久走記録会として、より自分の目標を意識したものとして、朝マラソンを実施していく。また、縦割りでの外遊びの日を設定し、縦割り班で運動をする日を設ける。